

## 沖縄県消防学校泡消火設備撤去業務委託に係る仕様書

### 1 業務名

沖縄県消防学校泡消火設備撤去業務委託

### 2 履行場所

沖縄県消防学校 主訓練塔地下1階 消火ポンプ室（中城村字北上原 910 番地）

### 3 期間

契約締結の日から令和8年3月31日まで

### 4 業務内容

- (1) 既存の泡消火薬剤（PFOS 等含有）の抜き取りを行う。
- (2) 泡消火設備配管内の PFOS 含有水溶液の抜き取りを行う。
- (3) 泡原液タンクの撤去を行う。
- (4) 既存の泡消火薬剤、配管内水溶液、泡原液タンクの運搬、処理を行う。  
※20L ポリタンク 3 個の処理を含む。
- (5) 関係法令手続き（消防用設備等設置届等）を行う。
- (6) その他当該業務を履行するにあたり必要な業務を行う。

### 5 既存泡消火薬剤（PFOS 等含有）

ライトウォーター（FC-3033 水成膜泡）、型式番号：泡第 53～5 号

### 6 泡原液タンク型式等

型式番号：YVPT-300 型、製造：ヤマトプロテック株式会社

### 7 経費内訳

品名・仕様	規格等	参考数量	単位
泡消火薬剤抜取作業費		350	L
水溶液抜取作業費		100	L
廃 PFOS 含有原液処分費		350	L
廃 PFOS 含有水溶液処分費		100	L
金属屑（PFOS 付着機材等）処分費		451	kg
廃液、廃材等収集運搬費		1	式
泡原液タンク等の溶断撤去工事	YVPT-300 型	1	式
資機材費（回収用容器、その他消耗品・備品等）		1	式
現場管理費		1	式
諸経費		1	式

### 8 提出書類

- (1) 着手届、業務工程表 各 1 部
- (2) 施工写真（施工前、施工中、完成） 1 部
- (3) 業務完了報告書 1 部

- (4) マニフェストの写し 1部
- (5) 消防用設備等 撤去届(副) 1部
- (6) その他担当職員が指示するもの

## 9 別添書類

- (1) 泡消火設備図

## 10 再委託に係る資格要件等

既存の泡消火薬剤、配管内水溶液及び作業に伴い発生する産業廃棄物の収集、運搬及び処分を委託する場合には、次の資格要件を確認すること。

- (1) PFOS 等含有廃棄物の取り扱いに関して十分な知識及び技術を有する者であること。
- (2) 処理を委託する廃棄物の種類が、その事業範囲に含まれている者であること。
- (3) 特に、処分業務については、環境省が「技術的留意事項」で定める PFOS 等含有廃棄物の分解処理の要件を満たした者であること。

## 11 その他

- (1) 本業務において、現場事務所は設置しない。施工に必要な資材の置き場は提供する。
- (2) 業務の実施にあたっては、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、消防法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等その他関係法令を遵守し、必要な措置を講じ、安全管理に留意すること。
- (3) 撤去品の廃材等については、「PFOS 及び PFOA 含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項(環境省)」その他関連する法令等を遵守するとともに、受注者の責任において適切に処分すること。
- (4) 消防設備士甲種2類の資格を有する主任技術者を配置すること。
- (5) 現場作業は常駐の現場代理人を配置すること。
- (6) 設備内の薬剤には、PFOS 類が含有しているため、廃液が下水道等に流入しないように留意するとともに、飛散、漏洩しないよう措置を講ずること。
- (7) 作業箇所及び作業日時については、事前に打ち合わせを行うこと。
- (8) 資材置き場、休憩場所、加工場所が必要な場合は、協議を行い、場所を決定すること。
- (9) 既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、受注者の責任において原状に復旧すること。
- (10) 業務を履行するに当たり、必要な諸経費は全て受注者が負担すること。ただし、業務に必要な電力及び水道は無償で提供する。
- (11) 本仕様書に定めるもののほか、必要な事項は協議のうえ、決定するものとする。